山林に配慮した林業

私は小規模・低コストで、生産第一ではなく山林にも配慮し、利益を出す自伐型林業に取り組んでいます。現在は山林の整備や山林資源の有効活用として、間伐材や倒木などを加工した炭や薪の販売に向け試行錯誤を重ねている段階で、その他にも重機が入れないような狭いところで木を切ったりしています。

特に私の移住したところは豊富な山林資源であふれています。ただ、長い間、誰も手を入れず荒れているのが現状です。昔話に「おじいさんは山へ柴刈りに」とあるように電気やガスが普及する前の人々は山からエネルギーとなる柴や木材等を調達するために山へ入っていました。自然と山への関心があったんだと思います。

今あるものを活用する生活

現在はモノであふれていると思います。新しいモノを生産することに時間や労力を掛けることよりも、山林資源を含めた今ある資源を最大限活用することがこれからの時代において賢明ではないかと私は思います。私たちの活動で一人でも多くの人に魅力を感じていただき、地方への移住、定住に一役買えたらと思っています。

堀田（ほった） 涼介（りょうすけ）さん
余呉町下余呉
任期：平成30年10月～令和３年９月

自伐型林業 今ある資源の最大限の活用を

魅力あふれる湖北の土地

地域文化や伝統的な産業に興味があり、これまでの仕事では地場産業や伝統産業の分野で商品企画や開発を行ってきました。

初めて長浜に来たとき、思っていたよりもびわ湖が大きくて驚きました。それまでは縁もゆかりもない場所でしたが、私の故郷にも似た雰囲気があり、親近感を持ったことを覚えています。住み始めてからは、たくさんの人に出会い、地域の文化、祭など土地の魅力を教えていただき、とても楽しく暮らすことができています。

活動の裾野を広げていく

現在は主に北部地域で昔から自家用栽培されていた「お茶」をテーマに、耕作放棄茶畑の整備や商品企画を中心に活動しています。お茶の栽培も商品づくりも初めてですが、古い歴史を持つ作物なのでやりがいを持って進めています。

たくさんの魅力的な地域資源にあふれる長浜なので、お茶以外の特産品や地場産業の商品作りのお手伝いやイベントの企画など、様々な分野を横断して活動し、魅力的なモノ・コトが行き交う湖北地域づくりに貢献したいと考えています。

中山（なかやま） 恵梨子（えりこ）さん
木之本町木之本
任期：平成31年３月～令和４年２月

在来種茶業 お茶を使って地域おこし

人生の新たな1歩

以前は、進学塾を経営していました。目標の大学に進学するための学力ではなく、大人になって社会に出たときに彼らを守ってくれる知力をつけるには何が必要なのかと朝から晩まで休むことなく考え、実践する毎日でした。

おかげで生徒たちは毎年立派に巣立ち、経営も順調だったのですが、不休で来たことに体が悲鳴を上げてしまいました。そこで大好きな仕事に一度区切りをつけ、新たな挑戦に踏み出してみようと思ったのが協力隊に応募したきっかけです。

この土地の当たり前を新しい経験に

ここでの生活は感動の連続です。自然の多様さ、美しさに心奪われることはもちろんですが、一番は近所の人たちのお心遣いです。適度に距離を保ちながらも、いつも気にかけてくれ、さりげなく手をさしのべてくれる。その優しさを心から尊敬しています。

「よそ者だからこそ憧れるこの土地の当たり前をまちの『新しい』に」をテーマに、この土地の沢山の素敵なものを発信することで少しでも恩返しできたらと考えています。

▲米袋を使って作成したカバン

有本（ありもと） 智美（さとみ）さん
西浅井町庄
任期：平成31年２月～令和４年１月

特産品づくり 地域の魅力が伝わる特産品を

馬とともに暮らしたい

私は幼い頃から馬が大好きでした。乗馬クラブに通い、大学を卒業してからは牧場で勤めていた事もあります。さて、そんな私がなぜ今、チェーンソーを握り木を切っているのでしょう。

その心は…、『馬と家族のように暮らしたい』と思うようになったから。その為に『林業』をやっていこうと思い立ちました。「林業と馬ってどう関係あるの」と疑問に思われるかもしれません。現代の林業に馬を活用している人は殆どいませんが、昔は馬に木を曳かせ搬出をしていた地域もあるのです。重機のように一度に多くは運べませんが、馬なら大きな重機が通れない場所も入って行けたり、山肌をあまり荒らさないという良い面もあります。機械と馬の良い所を組み合わせれば、今までできなかった事ができるかもしれません。

目標に向かって

山で馬が働く風景が、皆さんの目に止まる日が来るよう頑張っていきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

隅田（すみだ） あおいさん
西浅井町黒山
任期：令和２年２月～令和５年１月

自伐型林業 馬を使った林業が目標